



新型コロナワクチンについて

現時点で新型コロナワクチンについてわかっていることをお伝えします。

1, 国産ワクチンは開発途上です。

2月から日本国内で接種開始されたのはファイザー社のワクチンで、米国を中心に約4万人のボランティアを対象とした治験によって有効性と安全性の調査をして販売に至り、1月末の段階で米国内では既にのべ約1千万人に接種されています。残念ですが、ワクチンは「国産だから安全で信頼できる」とは言えません。理論的に効くはず、誠実に作りましただけで、実際に何人に接種してその効果や安全性が確認できたのか、そのデータがないとワクチンの優劣は判断できません。日本国内各社が開発している新型コロナワクチンでは人を対象とした小規模な調査が始まったものもあるようですが、今後ボランティアを1万人以上集めて効果と有効性を調査することすら困難と思われる。当面、日本国内で使用されるワクチンは、海外産となります。となると国内供給は交渉次第、別の言い方をすれば他国との奪い合いとなるのが実情です。

2, ファイザー社ワクチンの有効性と危険性

ファイザー社の製品が初めて人に接種されたのが今年の4月で接種後1年も経過していません。2年間効果があるのか、それはまだ実証されていません。しかし接種することによって新型コロナウイルス感染症を発症するリスクを95%減らすこと、かかったとしても重症になるリスクを減らすことが判明しています。抗がん剤や抗生剤も100%の効果があるわけではなく、そう考えると自分の健康に寄与する点では十分有効なワクチンです。その一方で、すでに約1千万回接種されています。秘密裡に接種しているわけではありませぬから、何か問題があれば発覚します。治験の結果も含めて大きな問題がないからこそ、他のワクチンでも起こりうるアナフィラキシーのみが報道されるのでしょう。ファイザーのワクチンでは約20万接種に1回(宝くじの2等賞ぐらいの確率)、府中市全体で二人程度の発症が予想され、治療法も確立しているアナフィラキシーが現時点で想定される最大のリスクです。

新型コロナワクチン、現時点の情報を総合すると、大人は受けるべきワクチンだと言えるでしょう。

絵本の読み聞かせ



読み聞かせは親子のコミュニケーション不足を解消させます。絵本を読む声は子どもに安心感を与えますし、肌のぬくもりや匂いを感じることでより親子の親密度が高まります。絵本の読み聞かせで素晴らしいことは「子供と一緒に同じ世界を共有できる」ことです。家にいる時間が増えた今、ほんの少しだけでも読み聞かせの時間を作り、子ども達と一緒に絵本の世界を楽しみませんか？絵本が大好きな子どもは多いので、お父さんお母さんから読み聞かせに誘うと喜んでくれると思います。



☆読み聞かせはいつごろから？

何歳からでもかまいません。「小さな赤ちゃんへの絵本の読み聞かせは早い？」と思われる親御さんもおられるかもしれませんが、赤ちゃんでも読み聞かせの声やリズム、表情を楽しむことはできます。大好きな人から優しい声で語りかけてもらう時間は子どもの心の栄養になります。

☆読み方のポイント

- お子さんの機嫌の良い時にスキンシップをしながら行いましょう
- お子さんの表情が見える位置に座りましょう
- 上手に読もうと力まなないで、まずはお父さんお母さんが楽しむ気持ちで気軽に読みましょう。
- 愛情をこめて、ゆっくり読んであげましょう。
- 読み聞かせをしているときは、絵本を読むことに集中しましょう。テレビやスマホの音を消し、時間に余裕を持って始めてください。

☆絵本を選ぶポイント

- {0歳児} 絵が大きくシンプル、たくさんの綺麗な色が使われている
- {1歳児} 絵や仕掛けで楽しめる・食べ物や動物など身近なものが描かれたもの・リズム遊びが楽しいもの
- {2歳児} 主人公に少しずつ感情移入できるもの
- {3歳児} 同じストーリーをくりかえしたようなもの
- {4, 5歳児} 登場人物に感情移入できるような複雑で長いストーリーのもの



3月のケロケロひろば

3月18日(木) 待合室(予約制) *詳細はHPをご覧ください

- ① 14:00~14:45 もしくは② 15:00~15:45 (時間指定不可)
- 混雑緩和のため、ご予約をお願いしております。また、大変申し訳ありませんが今回は3歳未満のお子様のご参加に限らせていただきます。

申込受付 3/1(月) 9:00~3/10(水) 17:00

予約専用番号にお電話下さい*ご希望者が多い場合は抽選となります